



## 環境



## 健全な資源循環の実現へ



地球温暖化や資源枯渇などの環境問題に取り組み、持続可能な社会を実現することは世界共通の目標となっており、企業はその担い手として、より一層大きな期待を寄せられています。

日本曹達グループは、長い歴史の中で培ってきた水処理技術、資源リサイクル技術、有害物質吸着・除去技術などを活用して、さまざまな環境ソリューションに取り組んでおり、事業を展開しています。また、持続可能な植物保護に向けて、日本特有の美観を形づくる松林の保護にも貢献しています。

## マテリアリティ

## 化学(技術力)による健全な資源循環への貢献

- ・ 水資源供給の安定化
- ・ 廃棄物による環境負荷の低減

## KPI

## ① 貢献した水の量

日本曹達が2020年度に販売した固形塩素剤で処理できる水の量：2,040万t

環境

マテリアリティ

持続可能な植物保護へ

- ・ 貴重な松などを害虫から守る

KPI

② 取り組み状況 松林保護への貢献

2020年度の活動実績

1. 松枯れ対策シンポジウムの開催（共催：一般財団法人日本緑化センター、後援：林野庁）  
2020年度はコロナ禍のため、オンライン形式で松枯れ対策シンポジウムを開催しました。  
全国から約600名に及ぶ視聴者を迎え、第一線の研究者から最新の知見を全国の市町村担当者やゴルフ場関係者、薬剤販売業者に発信しました。
2. 全国の松枯れ被害発生地区の県市町村担当者を対象に、松枯れに関する周辺知識と防除対策の説明会を延べ10日間実施しました。
3. 講師を派遣し、桜のクビアカツヤカミキリの防除用殺虫剤「マツグリーン」製品の効果的な使い方について現地説明会（1ヵ所）を実施しました。